

## 2010年11月19日「国内フェリー・RORO(\*)物流セミナー」を開催しました

北九州港は、重量ベースで約半分を国内フェリー・RORO船で取扱っている、長距離フェリー寄航港湾の内航フェリー取扱量が苫小牧に次ぐ全国2位を誇る港です。この取扱量は、関東、中京、関西、四国と各地をダイレクトに結ぶ豊富な航路が支えています。

フェリー・RORO船による物流を荷主の皆様にご理解いただくセミナーを2010年11月19日に北九州市内で開催しました。本テーマでの開催は初めてのことで、メーカー、商社を中心に75名と予想を上回る参加をいただきました。

午前、午後の2部構成で、午前は、スクール形式でのセミナー、懇親を兼ねた昼食をはさみ、午後は、市内3ヶ所のフェリー拠点バスをまわる施設見学を行いました。

### ・参加者

75名（メーカー・メーカー物流：47名、商社：4名、その他：24名）  
他に船社等：20名（5社）

### ・内容

#### 1 セミナー

- (1) 北九州港における国内フェリー・RORO 航路の概要 [北九州市港湾空港局]
- (2) フェリー物流の特長、メリットの紹介 [オーシャントランス(株)]
- (3) フェリー物流を利用した事例紹介 [(株)名門大洋フェリー]

#### 紹介された内容

- ・安定した定時性（東京ー北九州で15分以上の遅れが5%以下）
- ・高いCO2削減（CO2削減率が60%に達する事例）
- ・優れた輸送品質（スタビライザーを搭載、ラッシングによる固定）
- ・ドライバーの労務、不足対策（無人化航送）
- ・耐災害性（災害に強く災害対策基本法上の指定公共機関に指定）

#### 2 施設見学

- (1) 新門司フェリーターミナル（門司区）  
阪九フェリー、オーシャン東九フェリー船舶見学（車両甲板、ブリッジなど）
- (2) 浅野フェリーターミナル（小倉北区）  
フェリーさんふわらあターミナル紹介
- (3) 小倉 RORO ターミナル（小倉北区）  
川崎近海汽船ターミナル・荷役車両（トレーラー）の紹介

本セミナーを通じて多くの方に、「環境に優しい」のは言うまでもなく、輸送効率の向上、輸送の安全性の高まりなどで、様々な強みを有する、フェリー・RORO 船を活用した物流構築について、興味をお持ちいただく機会となりました。

(\*) ROROとは、トラックなどの貨物車両が自走して船舶に搭載できる荷役のことで、その船舶をRORO船と呼んでいます。フェリーも荷役方式としては、ROROですが、多くの旅客が乗船できることで、区別して呼んでいます。

### フェリーRORO 物流セミナーの様子



セミナー会場全景



プレゼンテーション



トレーラー説明



模擬荷役

#### 【問い合わせ先】

港湾空港局物流振興課 担当：笹倉、秋貞 電話：093-321-5941